

水戸で「働く」暮らし体験事業「水戸 de ワーホリ」

1 地域の課題（目指す地域の姿）

将来的な人口減少が避けられない中、水戸市では、若い世代の人口流入の促進及び人口流出の抑制を図ることで、バランスのとれた人口構造とするため、若い世代が「住みたい、ずっと住みたい」と思えるまちの実現を目指し、各種取組を推進しています。

若い世代の地方移住においては、特に「仕事」の影響が大きいことを踏まえ、本市においては、若い世代が魅力を感じる多様な働く場の創出に優先的かつ重点的に取り組むとともに、本市の働く場の情報を、若い世代が就職を検討する時期にタイミング良く伝えることが必要となっています。

2 プロジェクトの概要

茨城県外に居住する、就職活動を控えた大学生等をメインターゲットとし、市内の事業所において働きながらリアルな本市での暮らしを体感できる2週間の移住体験事業を実施します。

※本事業は、総務省「ふるさとワーキングホリデー制度」を活用した事業です。

特徴① 内定直結型のワーキングホリデー

参加者は若い世代の雇用を希望する多様な受入企業から就業体験先を選択することができます。

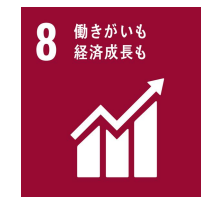
参加者と企業の希望がマッチングした場合、卒業後の採用オファーにつながります。

特徴② まちといなか「いいとこどり」の暮らし

参加者は共同生活の中で、買い物やアクティビティ、住民との交流を通し、都会的な面と田舎的な面を好きなバランスで組み合わせることができる水戸のリアルな暮らしを様々な場面で体験することができます。



令和7年度開催時の様子



3 企業様のメリット

その1：地方創生の推進や若い世代の未来を応援する企業様のイメージアップに繋がります。

その2：広報みと、水戸市HPへ企業様のお名前を掲載します。

その3：水戸市長から企業様への感謝状贈呈式を行います。

その際に、マスコミ各社へプレスリリースを行います。